

模範解答

ファイナンシャル・プランニング技能検定 1級実技試験(資産設計提案業務)

平成28年9月11日実施

厚生労働大臣指定試験機関

特定非営利活動法人(NPO法人)

日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

各科目の配点は、特に記載のない限り、公表しておりませんのでご了承ください。配点に関するお問い合わせには、お答えできません。

- 問1 3
問2 4
問3 (ア)1 (イ)6 (ウ)4 (エ)9
問4 20(万円)
問5 (ア) (イ)× (ウ) (エ)×
問6 1
問7 2
問8 4
問9 (ア)× (イ) (ウ) (エ)
問10 (ア) (イ) (ウ)× (エ)

- 問11 35(円)
問12 (ア)× (イ) (ウ) (エ)×
問13 (ア)177 (イ)205 (ウ)309
問14 2
問15 148(m²)

問16 (下記解答例だけでなく、総合的観点から採点を行います。)

<例> 金融商品取引法は、有価証券の価値等または金融商品の価値等の分析に基づく投資判断に関し、口頭、文書その他の方法により助言を行うことを約し、相手方がそれに対し報酬を支払うことを約する契約を「投資顧問契約」とし、この契約に基づいて助言を業として行う者および投資顧問契約または投資一任契約の締結の代理・媒介を業として行う者については「投資助言・代理業」として、金融商品取引業者の登録を義務付けている。従って、登録を受けていないFPは、顧客から助言の要請がある場合でも、経済情勢・景気動向や企業業績など投資判断の前提となる一般的な情報を知らせたり、現在や過去における有価証券の価格等を紹介することにとどめておく必要がある。(306字)

- 問17 3
問18 1
問19 (ア)3 (イ)8 (ウ)3 (エ)7
問20 (ア) (イ)× (ウ)